

広報誌

つつじ

平成27年9月1日発行

第56号



ガレージ小嶋商会
ジープJ30オーナーズクラブ
小嶋幸夫 氏 所有
茨城県在住
新十津川駅訪問

行事予定

- 4日 新十津川神社例大祭 12:00～
- 8日 集合レク (独唱会) 林 さくら子さん来院 14:00
- 14日 避難訓練 (夜間想定) 14:00～
- 25日 新任者研修 15:30～

新十津川駅ヒストリー

その1 北海道に東武鉄道？

札沼線(愛称=学園都市線)は、札幌(正確には桑園)を起点として留萌本線石狩沼田を結ぶ鉄道として昭和10年10月に全線開通しています。昭和47年6月に石狩沼田-新十津川間が廃止になり、その時からここ新十津川駅は終着駅になりました。

北海道に東武鉄道？

石狩川右岸に鉄道を引こうと最初に考えたのは、明治38年当時新十津川にあった石狩石炭会社が計画したのが始まりとされています。その他様々な説がありますが、当時石狩川左岸には北海道炭坑汽船が建設した鉄道(函館本線)があり豊富な埋蔵量を誇る空知炭田があり沢山の私鉄(運炭鉄道)が敷かれていました。一方石狩川右岸にも樺戸炭田が、雨竜川上流には留萌炭田も存在しました。石炭の大量輸送を考えた場合当時の貧弱な道路状態などを考慮すると、『鉄道を!』という機運は至極当然に生まれてきたと思われます。しかし翌明治39年北海道炭坑鉄道が国有化され、この運炭鉄道の話は消滅しています。

次なる動きは明治43年の鉄道院の札久線(札幌~沼田~多度志~佐久(宗谷管内))です。これもまた実際に一部測量は行われたものの計画倒れに終わりました。このルートは後の札沼線と深名線の一部となっています。こういった動きの中で石狩町が中心となって銭函~石狩間の鉄道を誓願しました。後に近隣町村が加わり石狩川右岸鉄道の誘致運動へと展開して行きました。

大正元年石狩川右岸鉄道速成同盟を結成し、初代会長として樺戸集治監の元老海賀直常が選ばれましたが、高齢の為他界し、2代目の浦臼村の岩村八作男爵が就きましたが、大正3年に勃発した第1次世界大戦の影響で官営鉄道の誘致は不可能と判断し資金500万で私設鉄道として運動を転換しました。がしかし、思うように資金が集まらず運動は暗礁に乗り上げてしまいました。雨竜の蜂須賀侯爵に支援を求めた際に、『期成会の首脳者として権威ある東代議士を据えるなら援助する』と言う言葉を頂き、当時新十津川村出身で政友会の代議士である東武に会長就任を要請しました。

大正10年高橋是清内閣が成立し、その年に東代議士が第3代の会長に就任しました。この時に鉄道起点を札幌にし『札沼線鉄道速成会』と名称を変えています。その効あって翌年に建設予定線となり、翌々年に東武が予算委員長になると帝国議会で強引に採決し、大正13年から着工と決定しました。しかし政友会の分裂で加藤高明内閣が成立すると、石狩川右岸鉄道は4年先まで繰り延べになりました。

東武は再び政治力を発揮し高橋是清、横田司法大臣、仙石鉄道大臣、実力者三浦将軍を、また6代目会長小林吉太郎(蜂須賀農場顧問)は貴族院関係者を説得し、ついに大正15年から8ヶ年の継続事業として確定させたのでした。

強引な政治力で札沼線実現に尽力した東武を称えて『あずま鉄道・東武鉄道』と呼ばれたのはこういった経緯があったのです。(つづく)

シリーズで、新十津川駅の歴史について詳しく書かれている常設資料を掲載していきます。

文 三浦 光喜
新十津川町在住



浦臼-新十津川間復元。小旗を振って新十津川行き初列車を見送る浦臼の人たち(1953年11月)



東 武

参考
混合列車 北大鉄道研究会
写真で見る北海道の鉄道
北海道新聞社
北海道の鉄道 吉井書房



空知中央病院

広報で〜す

みんな
楽しそうに遊んで
いました。

南幌加婦人会より当院保育所へ楽器の贈呈がありました。



アコーディオン・木琴・鉄琴・太鼓・リコーダーなどです。ありがとうございました。



暮らしの便利帳

新十津川発

中田洋服店

一級技能士、指導員の資格を持つ中田洋服店にお伺いしました。

この店は、昭和23年に先代が創業。ご主人は、2代目です。

高校を出てから4年間札幌で修業してその後、東京に出たかったのですが父に戻され今に至っています。当時(昭和45年頃)は、仕事は途切れる事無くあって、一番忙しい時代でした。

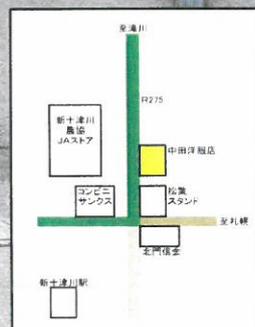
オーダ服の注文が少なくなるのは、時代の流れでしょうか、今は、修理・直しを主にしています。広告を出した効果があつてか、遠くは、岩見沢からも持って来る方もいて、夜遅くまで作業することもあります。

費用の設定は、近所の人に聞いたりしながら、昭和54年の組合の定価の半値を基本に金額を設定しています。お客さんから、「思い通りに出来た。」と喜ぶ顔を見るのが何より嬉しい。他の職人さんの作った服を直すのも勉強になる事もあるので好きです。

職人のこだわりで、ズボンの裾上げもミシンよりクレームが出ないので、手縫いするそうです。



樺戸郡新十津川町字中央6-72
電話(0125)76-2641



9月の外来医師診療予定

外来		月	火	水	木	金	土
午前	内科	黒田	奥田	皆川	奥田	黒田	黒田
	リハビリ				菊田	菊田	菊田
午後	内科	奥田	細川	皆川	奥田	奥田	
	リハビリ				菊田	菊田	
診療科		医師名		予 定			
内科							
皮膚疾患		後 藤		通常通り(毎週土曜日午前診療)			

※上記内容は変更される場合があります。

8月 空知中央病院トピックス



七夕祭り



小旅行



ハーブガーデン祭



あともぎ

ここ数日で 黄金色が広がり、虫の音も心地よく響くころになりました。あの暑～い夏が懐かしく感じるのは私だけでしょうか。秋もまた楽しみ。食べてよし・寝てよし・温泉もまたよし・・・ 大いに楽しんでいきましょう。



C.G